

どんど焼き

令和3年1月10日（日）午後2時から、八雲神社の境内にて太鼓の音を合図に「どんど焼き」が行われました。

新型コロナウイルス感染禍が甚大で、緊急事態宣言が再発出されていましたが、全員がマスクを着用し、準備良く早目に点火し実施しました。

町内からは、しめ縄などの正月飾り、古いお札、だるま、ごぼうじめ、書初めなどが出され、境内中央に積んで次々と燃やしました。

時間を待ち切れず、団子を刺した柳の枝や竹竿を持った大人や子供達が集まって来て、それぞれ団子を炎にかざし、歓声を上げながら焼きました。そして焼いた団子をその場で食べたり、火の粉や煙を浴びながら無病息災を祈願しました。

消防団の方々には、周りの散水や炎の監視など協力をしてもらい、午後3時に無事終了となりました。

